

私は今回の講話をきいて、日本にもたくさん地震があり、いつおこるか分らない恐怖が身近にあるのだということを感じました。私はまだ一度も大きな地震を経験したことがなく、あまり実感はわかりにくいけれど、写真などの資料を見て、本当にたくさんの方が亡くなつて、たくさんの方が被害を受けているのだと聞いて、ここまで復興できたのは、たくさんの方のおかげなんだと気付きました。熊本県の大きな地震も起きる確率が0.9%にも関わらず、起きていたので、安心しきってはいけないかなと思いました。私の家では、地震に対する予防はほとんどしていません。水と簡易トイレを準備しておこうと思います。他にも食料も必要だと思うので、家族と話し合っておこうと思います。

この様な、防災の話はよくきくけれど、今回は特に、場面ごとに対応の仕方をあけての説明だったので、分かりやすかった。実際の写真もテレビや教科書などで何度も目にしていたけれど、救助中にまきこまれた写真ははじめてで、助けを下さる立場の方をいざそういう時にみかけたらすごく安心してしまうけれど、本当に何が起きるか分からないということも学んだ。自分、自分が実際にそういう場面に出会ったなら、たまたまの対応はなかなか出来ないと思うけれど、最低限、自分の身を守る行動を一入一入がとったら、助かる人は増えると思う。いつおこるかは本当に誰にも分からないし、備えをしていた分、もしものときの対応も変わってくると思うから、今日はとても勉強になった。

今日防災学習をして、今日教えてもらうからこその分かることだと思っている。阪神・淡路大震災は、津波がほとんどない直下型地震と言っていた。でも地震だけに集中する力は、海溝型よりも直下型のほうが大きいのではないかと疑問に思いました。東日本は、約9割の人が津波で亡くなったと言っていた。そして、マグニチュードが9.0と兵庫県南部地震よりも強かった。P波とS波は、授業ではらたけれど、それを活かした便利な道具が作られていることは知らなかった。この防災学習をした後に家に帰って、家族で防災のための避難場所や必要な道具の確認などをしっかりしていきたいと思いました。